

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 エムケー精工株式会社  
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 将一  
 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年6月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,866	3.0	236	244.8	224	321.0	196	320.7
24年3月期第1四半期	3,753	15.1	68	—	53	—	46	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 146百万円 (146.6%) 24年3月期第1四半期 59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.53	—
24年3月期第1四半期	3.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	19,931	7,297	36.6	503.21
24年3月期	20,217	7,223	35.7	498.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,297百万円 24年3月期 7,223百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	0.2	400	4.9	350	1.1	330	1.6	22.76
通期	19,500	3.6	800	3.5	730	5.7	600	8.3	41.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,595,050 株	24年3月期	15,595,050 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,093,042 株	24年3月期	1,093,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,502,008 株	24年3月期1Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等もあり緩やかに持ち直しの動きが見られる一方で、欧州債務問題の再燃や円高水準、電力の安定供給への懸念など減速要因が長期化し、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資や個人消費は緩やかな回復基調にありますが、競合他社との価格競争が続いており、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような状況にあつて当社グループは、顧客ニーズの変化に適応し、環境問題に配慮した商品開発を行うとともに、的確な生販調整による在庫削減や更なる経費削減及び原材料コストの削減により、引き続き事業部門別採算管理の強化を図り、安定収益を確保できる企業体質構築に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は38億6千6百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は2億3千6百万円（前年同期比244.8%増）、経常利益は2億2千4百万円（前年同期比321.0%増）、四半期純利益は1億9千6百万円（前年同期比320.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、主力取引先であるSS業界やカーディーラー及び整備工場におきまして、昨年度に引き続き機器の買い替え需要が好調を維持し、販売が堅調に推移いたしました。また、積極的な提案型営業により新規顧客開拓に注力いたしました結果、売上高は前年同期比1.2%増の25億6百万円となりました。

#### (情報機器事業)

主要分野であるアミューズメント業界におきまして、原発事故に伴う節電の影響により落ち込んでいた更新需要に一部回復の兆しが見え始め、民需小型LED表示機及びフルカラーLED表示機は前年同期を上回る販売となりました。また、官需関連の道路情報板は売上が当第1四半期にずれ込んだこともありまして、売上高は前年同期比19.8%増の5億8千2百万円となりました。

#### (生活機器事業)

個人消費低迷が長引く中、消費者の節約志向・低価格志向と相俟つて、当生活関連分野におきましては厳しい状況が続いております。保冷米びつは堅調に推移いたしました。また、パン焼き機などの調理家電におきましては海外商品との価格競争、また農産物低温貯蔵庫は競合他社との価格競争により苦戦を強いられ、売上高は前年同期比12.0%減の6億2百万円となりました。

#### (住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は依然として厳しい状態が続いており、当社への影響も例外ではなく厳しい状況にありますが、昨年度後半からの比較的好調な受注が当第1四半期売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比103.6%増の1億3千4百万円となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンドンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、業界全体の競争激化に加え、長引く経済不況の影響を受けて厳しい経営環境が続いておりますが、売上高は前年同期比1.2%増の4千万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億8千5百万円減少し199億3千1百万円となりました。流動資産は1億3千万円減の105億2千6百万円、固定資産は1億5千4百万円減の94億3百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、受取手形及び売掛金が9億2千5百万円減少したこととたな卸資産が8億9千6百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ3億6千万円減少し126億3千4百万円となりました。流動負債は10億7千4百万円減の85億3千2百万円、固定負債は7億1千4百万円増の41億1百万円となりました。これは主に短期借入金が13億1千6百万円減少したことと長期借入金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ7千4百万円増加し、72億9千7百万円となりました。これは主に四半期純利益1億9千6百万円及び剰余金の配当7千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては概ね計画どおりに推移しております。よって、現時点では平成24年5月2日付「平成24年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,431,977	1,360,934
受取手形及び売掛金	4,462,698	3,536,909
商品及び製品	1,343,222	1,731,487
仕掛品	1,195,648	1,349,269
原材料及び貯蔵品	1,941,668	2,296,501
その他	305,548	274,310
貸倒引当金	△23,208	△22,714
流動資産合計	10,657,555	10,526,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,917,785	2,870,735
機械装置及び運搬具(純額)	317,898	308,872
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	158,977	181,812
有形固定資産合計	6,375,824	6,342,584
無形固定資産		
のれん	1,165,907	1,138,691
その他	519,076	523,738
無形固定資産合計	1,684,984	1,662,429
投資その他の資産	1,496,917	1,398,228
固定資産合計	9,557,726	9,403,242
繰延資産	1,937	1,694
資産合計	20,217,219	19,931,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,633	1,339,374
短期借入金	5,569,810	4,253,106
未払金	2,388,728	2,597,689
未払法人税等	80,558	30,425
引当金	276,400	98,125
その他	100,763	214,238
流動負債合計	9,607,894	8,532,958
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	2,833,384	3,545,470
引当金	230,427	233,090
その他	222,491	222,608
固定負債合計	3,386,303	4,101,168
負債合計	12,994,198	12,634,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	1,893,892	2,017,622
自己株式	△510,121	△510,121
株主資本合計	7,708,466	7,832,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96,533	△193,430
繰延ヘッジ損益	8,788	△181
為替換算調整勘定	△397,699	△341,073
その他の包括利益累計額合計	△485,444	△534,685
純資産合計	7,223,021	7,297,510
負債純資産合計	20,217,219	19,931,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
売上高	3,753,496	3,866,879
売上原価	2,634,906	2,511,396
売上総利益	1,118,590	1,355,482
販売費及び一般管理費	1,049,868	1,118,560
営業利益	68,721	236,922
営業外収益	34,058	21,740
営業外費用		
支払利息	37,248	29,296
その他	12,317	5,328
営業外費用合計	49,566	34,624
経常利益	53,213	224,038
特別利益		
固定資産売却益	—	30
貸倒引当金戻入額	12,835	—
その他	10	—
特別利益合計	12,845	30
特別損失		
固定資産除却損	117	75
貸倒損失	945	—
特別損失合計	1,062	75
税金等調整前四半期純利益	64,997	223,993
法人税、住民税及び事業税	17,474	10,722
法人税等調整額	873	17,031
法人税等合計	18,348	27,753
少数株主損益調整前四半期純利益	46,648	196,240
四半期純利益	46,648	196,240



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,648	196,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,696	△96,896
繰延ヘッジ損益	△416	△8,970
為替換算調整勘定	15,073	56,626
その他の包括利益合計	12,959	△49,240
四半期包括利益	59,608	146,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,608	146,999

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月21日至平成23年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器事 業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,476,781	486,102	684,667	66,231	39,714	3,753,496	—	3,753,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,844	5,005	62,949	39	35,626	110,466	△110,466	—
計	2,483,626	491,108	747,617	66,270	75,341	3,863,962	△110,466	3,753,496
セグメント利益又は 損失(△)	380,171	△75,530	25,683	△104,480	15,375	241,219	△172,498	68,721

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,498千円には、セグメント間取引消去7,810千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,308千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日至平成24年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器事 業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,506,971	582,307	602,581	134,844	40,174	3,866,879	—	3,866,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,211	8,689	92,192	3,588	35,233	142,915	△142,915	—
計	2,510,182	590,997	694,774	138,433	75,407	4,009,795	△142,915	3,866,879
セグメント利益又は 損失(△)	463,795	△20,277	44,009	△85,165	16,086	418,447	△181,524	236,922

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△181,524千円には、セグメント間取引消去6,519千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188,044千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。